



ひこうきぐも

特定非営利活動法人 色 就労支援センターそらいろ
(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

Vol.11
2022.秋

『誰のための何のための制度なのか!?!』

ジョイント・ほっと 山本 幸博

社会保障審議会障害者部会より障害者総合支援法の次期改正に向けた報告書(2022年6月13日)があげられました。そこには「就労選択支援」の創設案が盛り込まれています。

この制度の狙いは地域により取り組みに差があることから全国的に統一したしくみをつくることのようにです。就労を希望する障害者が本人の能力や適性にあった仕事に就けるよう適正評価が専門機関で行われること、一般就労と併用して就労系福祉サービスを一時的に利用することが可能であることが法令上明記される予定です。一見したところとてもいい制度ができるように思えるかもしれませんが、誰にとって“いいサービス”になるのかを見極める必要があります。障害者総合支援法(障害者自立支援法)の導入時においても、表向きは障害当事者が権利の主体としてサービスを利用(契約)できる制度と前面に打ち出されていましたが実際はどうだったでしょうか?

私は就労継続支援B型事業所の支援員ですが、見学や問い合わせの際に「私は一般就労は無理と言われたので…」「他に行くところがないので…」というような病気や障害により自信喪失している声を聞きます。私たち福祉事業所の役割は仕事の機会を作るだけでなく、本人の自己肯定感の回復を手伝い、その人がどのような生活を送りたいか自ら決定していく過程を見届ける役割があります。私たちの事業所を利用する方の中には、思うように体調が整わず出勤できるか否かを日々問答される方が何人もいます。事業所に顔を出すのが精一杯の日も多々あります。また、周囲から見ればたった数時間だけの労働かもしれないけれど、何とか仕事をやり遂げられた時の姿は何にも代えられない充実感でいっぱいです。「今日来て良かった!」「お客さんからありがとうって言ってもらえた」「少しでも社会の一員として役に立てたかな…」そんな言葉が溢れます。トライ&エラーを繰り返しながら日々を積み重ねる中で「こんなことしてみたいな」と希望の声になります。

今回の「就労選択支援」の導入が本人にとって選択肢の拡大に繋がればいいですが、雇用側にとって都合のいい判断基準になり、結果的に能力判断による“ふるい”にかけられて自信の喪失になることだけは避けたいです。少なくとも形式的に適正検査を受けましたというものでなく、検査前の本人の希望や状況を受け止めるアセスメントや検査後のアフターフォローが丁寧にできる環境を仕組みの中に入れられることを望みます。

誰のための何のための制度なのか、しっかりと胸に刻みながら制度改革を見守りたいです。

今回はいつもお世話になっています「ジョイント・ほっと」の山本所長に原稿をお願いしました。お忙しい中ありがとうございました!



◆profile◆

やまもと ゆきひろ
山本 幸博

就労継続支援B型事業所
ジョイント・ほっと 所長
精神保健福祉士

就職おめでとう!



今回は4名の方に就職され働いてる状況についての感想文を書いていただきました。みなさんそれぞれの場所で頑張っておられる姿はメンバーさんや私たちを勇気づけてくれます。

就職して一年たちました

M. M.

施設で清掃のお仕事をされています。

昨年の7月より、自宅から30分以内にある施設で清掃の仕事をしています。3~4人が日替わりで作業をしており、基本的には一日一人作業です。以前は疑問があったりすると、そらいろの担当職員さんにしばしば電話で相談して、不安を解消していました。今は疑問点などは先輩と付箋でやり取りして連絡するようにしています。書くこと話すこと両方苦手ですが、何もしないと何も変わりません。月に一度のそらいろの面談で「がんばることも大事だけど、自分を喜ばせることが仕事が長く続くコツだ」と教わりました。今の私の目標は、自分にダメ出しをするのではなく、部屋を片付け、細々とお仕事を続けて行くことです。いつでも味方になり、穏やかに自然に接し、支えて下さるスタッフの皆様やそらいろで出会えた方たちのおかげで、自分をリセットできたと思います。



塾に就職して

T

塾で講師のお仕事をされています。

担当の方のご提案で、そらいろで週1回英語の模擬授業をしていました。担当の方が英語ができることもあって私の模擬授業の生徒役をしてくださいました。その担当の方が私の模擬授業を塾に紹介してくださり、塾長が2回私の模擬授業を見に来られました。そのような経緯で1ヶ月の試用期間を経て塾に就職できました。担当の方への感謝の気持ちは計り知れません。色々とかになってくださったそらいろの全てのスタッフの方々に感謝しております。就職してから感じたことが2つあります。高3の受験生の英語をマンツーマンで教えていますが、塾の講師陣が一つのチームとなってその生徒の合格を目指し、そのチームの一員となれたことに喜びを感じています。もう一つは、毎週その生徒が塾にやって来て、当たり前のように私が塾で待っている。簡単なことのようにですが、逆に、もし私が、その生徒が来た時、いなかったら、そのまま休んでしまったら……。その生徒との信頼関係も無くなります。もしかすると、その生徒の大人をみる目も変わってしまうかも知れませんが、そんなことが起きないためにも、仕事のある日に体調を崩さないように慎重に生活しています。今後の目標は、体力をつけて、授業のコマ数が増えても対応できることです。スタッフの皆さんありがとうございます。



見学会のお知らせ

日時:2022年10月19日(水)15:30~
11月16日(水)15:30~
12月14日(水)15:30~

*日時のご都合がつかない場合、個別見学も承ります。

賛助会員の皆様 (敬称略・順不同)

・小林雅美 ・國木悠子

【6名(掲載辞退4名)】

(令和4年4月~令和4年9月)

ありがとうございました。



3度目の就職

H. F.

スーパーで事務のお仕事を
されています。

私は2022年2月に3回目の就職をしました。1回目は事務職、2回目は倉庫のピッキング作業で今回はスーパーの事務の仕事です。3回ともそろそろから就職しまして、今こうして元気に仕事を続けられていることに大変感謝しています。私は1, 2回目の就職をした事で色々やり切った感覚があったのと、これ以上就職してもしんどいかもしいという思いもありました。体調もあまりよくなかったです。ただ、自分の中にある今まで得たことを何かに役立てたいという気持ちがあり、また就職して仕事を頑張っています。今の仕事ではこれまで覚えたエクセルの知識や人との接し方が役に立っていると感じています。上司の方からスピードは気にしなくていいというお言葉を頂けたことで大分落ち着いて仕事に取り組んでいます。お昼ご飯の時に勤務先のスーパーのお寿司がおいしいのでよく買って食べてます。健康第一で無理しすぎないように仕事を続けて行きたいです。



就職して3ヵ月 新

大学で清掃のお仕事を
されています。

就活が始まり、最初は、自分に何ができるのかを考えて就活をしていたのですが、そんな事を考えるよりも面接時に手の震えがでたりしないか心配でした。面接をかさねるごとに、少しずつよくなっていきました。でもまったくなくなった状態ではないので心配は消えませんでした。それでも清掃の仕事に集中して就活していたのでいつか就職できると思っていました。四月に就職先が決まった時は、ほっとしました。仕事はじめは、先輩社員のアドバイスに緊張がすごくて手の震えが止まらなかったのですが、今は、少しずつ震えなくなり仕事に支障をきたすほどではありません。入社して3ヵ月最初は、室内の清掃をしていました。七月からシフトが変わり朝8時から12時まで室外の清掃をする場合もあります。最初の頃の仕事にたいする戸惑いなく、いかにきれいにスピーディーにできるようになりたいと思いがけています。



資格を取得して Y. M.

6月の下旬、MOSのExcelの資格の取得を目指し、学習を続けて、無事試験にも合格して資格取得に至りました。

現在、就活中の私の履歴書にまた一つ新たな資格が加わったことはうれしく、これでWordとExcelの二つがあることをアピールできるのは大きな自信となりました。

今回の資格取得で、新たに勉強をすることで得られる体験が楽しいのと、自分自身の成長につながっているのを実感し、意欲的に勉強を続けています。

今後の就活の状況によってですが、また、資格取得を目指し、勉強をしたいと思いました。何歳になってもいろんなことを学びながら少しずつでも成長していきたいと思えます。



エクササイズ

第1、3、5水曜日の午後はエクササイズプログラムです。毎回、体を動かすことで参加者の表情がすっきりと明るくなるのがよくわかります。プログラム後も参加者の腰痛、肩こり、ダイエットなどへのアドバイス、体の使い方や姿勢についての指導などを個別にさせていただくことがあります。また、今年度はもちづき会(OB会)でもオンラインによるエクササイズを行っています。



みちはた めいこ
道端 明子 先生

このプログラムはマインドフルネスをベースに心と身体に気づきを向けるエクササイズです。呼吸や身体の使い方、ストレッチやリズムカルな運動を通して身体づくりをします。こころの動きに気づいて、身体からの声に耳を傾け、自分に優しく対応できるようにトレーニングします。

筋力トレーニングのように毎日少しずつ続けることで、こころの抵抗力(レジリエンス)を育み、ご自身にもハートフルになってもらいたいです。



先生は、とてもやさしいです。最近では、企業でも取り入れられているマインドフルネスの「瞑想」から始まって、体をうごかしています。きっと、参加されると気持ちが悪くて眠くなってしまいますよ。疲れが吹っ飛びます！
(J・T)

所内勉強会で「らしく宮崎さん」のお話を聞きました。

人見 琢也

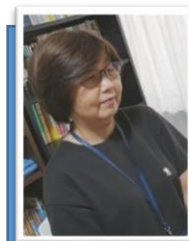
5月に行ったそらいろのスタッフ勉強会は、地域生活支援センターらしくの宮崎さんを講師に招き、事業所の業務、相談支援について学びました。

地域生活支援センターは普段からおつき合いがあり、私たちとは関係の深い機関でありながら、その業務について知らなかったこともあり、勉強不足を思い知らされましたが、そんな私にも講師はやさしく丁寧に教えてくださいました。すべての障害に应对、虐待の対応や成年後見制度の利用支援、隣近所のトラブル対応まで、多岐にわたる支援業務を知り、宮崎さんが日頃よりご多忙にされていることを納得しました。

宮崎さんには「ひこうきぐも」の前号に原稿も寄せていただきました。そこでは障害福祉サービスの社会資源が多くなり、支援機関の情報交換も増えざるを得ない中で、本当に情報が行き来しているのか、自分の役割以外のことでもお互い発信し合っているのかという問いかけがありました。わが身を振り返ってみて少々耳の痛い話ではありましたが、支援機関の連携の大切さが言われている中、自分の担当領域にこだわらず、お互いが発信し合えることの必要性和大切さに気付かされました。ご多忙にもかかわらず勉強会の講師、原稿とお世話になったことに感謝をするとともに、これからもお互い発信し合えるよい関係を続けさせていただきたいと思っています。

河原林さん勤続10年！！

スタッフの河原林三記子さんがそらいろに勤務されて10年となり、皆々でお祝いの気持ちをお伝えするために、今年度の総会で表彰をさせて頂きました。河原林さんの公平なご意見に幾度となく助けられました。これからも、末永くどうぞよろしくお願いいたします！(池田)



あっという間の10年でした。利用者さんを支援するという立場にありながら、利用者さんの頑張り、優しさ・暖かさに支えられた10年でした。まだまだ未熟な私ですが今後ともよろしく願いいたします。(河原林)

編集後記

年々短くなってきている秋をしっかりと味わいたいと思いながら過ごしていますが、ひこうきぐもVol.11を皆様の元にお届けできることとなりひと安心しているところです。就職された方から届く原稿に目を通し、500近い送付先への発送準備は、多くの人たちとのつながりを感じるうれしい気持ちでの作業となりました。次号においても就職された方の声やそらいろの活動を多くの人に届けたいと思っています。
(スタッフ 人見琢也)

特定非営利活動法人 色
就労支援センターそらいろ

(就労移行支援事業・就労定着支援事業)

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町 11-5
TEL&FAX : (075)841-5111
E-mail : sorairokyoto@gmail.com
U R L : http://sorairo-k.jimdofree.com

